

## 第1回雄物川水系河川整備学識者懇談会 確認事項

1. 「イバラトミヨ雄物型」を「トミヨ属雄物型」に名称を改めたのではないか。

雄物川水系河川整備基本方針は平成20年1月28日付で策定されたが、原案の検討は平成19年度以前から行われており、本文の案が社会資本整備審議会河川分科会河川整備基本方針検討小委員会に提示されたのが平成19年9月である。

この時点の基本方針本文では、「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物汽水・淡水魚類2003」及び「秋田県の絶滅のおそれのある野生生物（秋田県、2002）」に基づき、「イバラトミヨ雄物型」と記載している。

しかし、「平成19年度版（平成19年8月3日）レッドリスト汽水・淡水魚類」では、「トミヨ属雄物型」と記載されている。

本資料の確認が不十分であったことから、今後、雄物川水系河川整備基本方針の改正時に名称を変更することで対応したい。

今回策定する雄物川水系河川整備計画の各種資料では、「トミヨ属雄物型」と記載することとする。

2. 「イトヨ日本海型」について説明願いたい。

イトヨ日本海型は、トゲウオ目トゲウオ科に属する魚類で、環境省のレッドリスト（H19年）では、絶滅のおそれのある地域個体群（LP）、秋田県レッドデータブック（2002）では、絶滅危惧類（VU）に指定されている貴重種である。

雄物川では、本川下流域において、平成2年度 河川水辺の国勢調査で確認されている。また、旧雄物川のワンドにおいても、H14、H16、H19年と確認されている貴重種である。

雄物川河川整備基本方針では、下流域において配慮すべき動植物の一つとして、記載したものである。